令和７年度公益財団法人奈良市生涯学習財団事業計画書

自　令和７年４月　１日
至　令和８年３月３１日

１．事業方針

公益財団法人奈良市生涯学習財団は、市民の教養の向上、健康の増進、情操を豊かにすること、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する事業並びに児童に健全な遊びを与える事業を行うとともに、市民目線での施設運営を行い、学習環境の整備及び子どもにやさしいまちづくりを促進する。

公民館では、自由で主体的な学びを通して、市民の人生をより豊かにするとともに、社会や地域の課題を市民自らが解決する力を向上させることを目指す。

また、子どもから高齢者まで幅広い世代や障害者・外国人など多様な人々にとって、いつでも気軽に利用でき、人々の交流と相互理解、共生につながる地域の拠点となるための取組を進める。

男女共同参画センターでは、市民の男女共同参画社会への意識向上を図るための学習機会を提供し、その推進に向けた活動拠点として、団体の自主的な活動の場、情報収集の場、交流の場となることを目指す。

西部会館市民ホールでは、市民が気軽に文化芸術に触れることができる施設として、利用の促進に努めるとともに、人生が豊かになるよう市民の文化活動の情報を提供し、活発化することを目指す。

児童館では、児童の心身の健やかな成長及び自立を促すことを地域社会の中で具現化することができるよう、児童館の運営を行う。運営に当たっては、児童の年齢や発達に応じた意見を尊重し、保護者や地域の人々とともに児童の健全育成を目指す。

２．事業内容

（１）受託事業

奈良市から指定を受け、指定管理者として事業方針に基づいた事業を展開する。

〇公民館

生涯学習センター・公民館の活性化と市民の学習意欲と多様なニーズに応えることを目指し、地域課題や市民のニーズを把握し、分析を丁寧に行い、大型館・地区公民館の特性を生かしつつ、学校園、各種団体や様々な関連施設と連携することで、持続

可能な地域社会の実現を目指す。

令和７年度は、公民館のより一層の充実を図るため、特に中高生や若者が気軽に立ち寄れる環境を整える等により、新たな公民館利用者の獲得を目指す。また、多様な地域課題について組織全体で共有し、その解決に向けた学習機会を提供していく。

「子どもの参画ネットワーク奈良」との協働で行っている、子どもが社会の仕組みを楽しく学ぶイベント「子ども奈良ＣＩＴＹ」を引き続き開催し、子どもが一人の市民として尊重され、自信に満ちた社会の一員へと成長することを支援する。

なお、令和７年度は、施設ごとに策定している５年間の計画の３年目に当たり、これまでの成果・課題を踏まえ、目標達成に向けた取組を着実に進める。

［指定管理施設］

奈良市生涯学習センター	奈良市立中部公民館	奈良市立西部公民館
奈良市立南部公民館	奈良市立三笠公民館	奈良市立田原公民館
奈良市立富雄公民館	奈良市立柳生公民館	奈良市立若草公民館
奈良市立登美ケ丘公民館	奈良市立興東公民館	奈良市立春日公民館
奈良市立二名公民館	奈良市立京西公民館	奈良市立平城西公民館
奈良市立伏見公民館	奈良市立富雄南公民館	奈良市立平城公民館
奈良市立飛鳥公民館	奈良市立都跡公民館	奈良市立登美ケ丘南公民館
奈良市立平城東公民館	奈良市立月ヶ瀬公民館	奈良市立都祁公民館

計２４施設

〇男女共同参画センター

男女共同参画社会の実現を推進するための活動拠点として、市民の男女共同参画への意識の向上を図り、それぞれの能力を発揮できる豊かで活力ある社会の形成を促進することを目的とした事業を展開する。

令和７年度は、新たに男女共同参画に関する各種事業の開催に取り組む。具体的には、「男女共同参画週間」等に合わせたパネル展の開催や女性活躍推進・男女共同参画のための講座を開催する。

また、男女共同参画の啓発や情報の収集・提供に関すること、活動団体等の学習支援及び交流の場を提供することにより、市民が積極的に参画できる環境をつくる。

［指定管理施設］

奈良市男女共同参画センター

計１施設

〇西部会館市民ホール

多様化する市民ニーズに対応しながら、市民の文化に対する興味・関心を高め、市民の文化活動の活性化を図る事業を展開して、市民文化の振興を図る。

具体的には、市民が主体となって文化芸術活動についての披露や発信が気軽にできる環境づくりを進める。また、市民一人ひとりが文化に親しむ機会を増やすために、より一層、情報発信に注力する。これらの方策を着実に行うことで、市民が文化芸術を身近に感じ、文化に対する意識の高揚と文化に親しむ機会の拡充を図り、市民の文化活動を支援する。

［指定管理施設］

奈良市西部会館市民ホール

計１施設

〇児童館

０歳から１８歳未満のすべての子どもを対象とし、地域における子どもの居場所となるよう遊び及び生活の援助を行い、自尊感情や自己肯定感、自主性・社会性を育むとともに、学習環境を整備することで情操を豊かにする等、子どもの心身の育成に努める。

また、子育て家庭の孤立や育児不安が広がっている中で、子育て相談などの子育て支援を日常的に行い、こまめな声掛けにより課題の早期発見や問題発生の予防的な福祉機能を果たす。

令和７年度は、遊びや学習支援を通して異年齢集団で交流し、様々な体験活動を行う事業をはじめとして、座談会や親子を対象とした事業等を展開することで、より多くの子どもたちにとって児童館が学校でも家庭でもない第三の居場所として、心の拠り所となるように運営を行う。さらに、児童館の対象でありながら利用することの少ない中学生・高校生のニーズを把握し、新規児童の利用を促進するための環境整備を行う。

［指定管理施設］

奈良市古市児童館　奈良市横井児童館　奈良市東之阪児童館　奈良市大宮児童館

計４施設

（２）自主事業

奈良市の関連諸施策や関係機関との連携を図り、多様な学習ニーズに応えることのできる学習機会の提供を目指す。また、当財団の取組をより多くの人々にＰＲするとともに外部収入を獲得するため、職員の専門性や特技を生かし、講師派遣等の事業展開を行う。さらに、自主財源の確保と事業内容の充実のため、外部資金による事業開催にも取組を進める。

奈良ひとまち大学

家庭教育サポートネットワーク支援事業

奈良市子育てスポット事業